

審議会会議録

1	会議の名称	平成26年度第1回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	平成26年6月12日 午後2時～午後4時
3	開催場所	富津市役所401会議室
4	審議等事項	(1) 会長の選出について (2) 地域型保育事業の設備及び運営に関する基準案について (3) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準案について (4) 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案について 等
5	出席者名	委員 富井碧、木下照代、井上久吏子、白井まり子、廣田梓司、相澤靖司、小柴喜大、能城美佐子、鈴木眞廣、君塚善恵、岩瀬志帆、岡村京子、松倉佳子、渡辺務、菊池定勝 事務局 前沢健康福祉部長、白石子育て支援課長、茂木子ども家庭係長、小野田保育係長、渡邊主任主事、学校教育課芳村主任主事
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0 人（定員5人）
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成26年度第1回富津市子ども・子育て会議会議録

発言者	発言内容
事務局・茂木	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認
前沢健康福祉部長	<p>2 健康福祉部長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の成立
事務局・茂木	<p>本日、15名の委員、全員の方が出席ですので、過半数を超えております。子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開
事務局・茂木	<p>この会議につきましては、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議は公開することとなっております。</p> <p>本日の傍聴人はおりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の自己紹介 ・事務局の紹介 <p>3 議題</p> <p>< (1) 会長の選出について ></p>
事務局・茂木	<p>前会長の十川敬三様が委員を辞職され、会長が不在でございます。本会議設置条例第5条第3項の規定に「副会長は会長を補佐し、その職務を代理する」とありますので、鈴木副会長に議事進行をお願いいたします。</p>
鈴木副会長	<p>それでは、会長が選出されるまでの間、議長を務めさせていただきます。議題(1)会長の選出について</p>

事務局・白石	<p>を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>会長の選出ですが、本会議設置条例第5条第1項に「会議に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める」と規定されていますので、よろしく願いいたします。</p>
鈴木副会長	<p>事務局から説明がありましたように、「会長の選出については委員の互選によりこれを定める」とありますが、互選の方法といたしましては、選挙と指名推薦がありますが、いかがいたしますか。</p>
岡村委員	<p>指名推薦の方法が良いと思います。</p>
鈴木副会長	<p>指名推薦とのご意見がありました。よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
鈴木副会長	<p>ご異議ないものと認め、会長の選出方法は、指名推薦といたします。</p> <p>どなたか会長の推薦をお願いいたします。</p>
相澤委員	<p>渡辺委員を推薦いたします。渡辺委員は市議会の教育福祉常任委員長を務められ、識見が豊かで適任ではないかと思っております。</p>
鈴木副会長	<p>相澤委員から渡辺委員との推薦がありましたが、他にどなたかいらっしゃいますか。</p> <p>他に推薦される方もいないようですので、渡辺委員に会長をお願いすることにご異議ございませんか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
鈴木副会長	<p>ご異議ないものと認め、会長には渡辺委員をお願いすることとします。渡辺委員よろしく願いいたします。会長が選出されましたので、これで議長職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局・茂木	<p>渡辺委員については、会長席にご移動をお願いします。ご移動後は、就任のご挨拶をいただき、議事進行をお</p>

渡辺会長	<p>願いたします。</p> <p>会長挨拶</p>
渡辺会長	<p>・会議録の署名人</p> <p>それでは、議長をつとめさせていただきます。</p> <p>次の議題に入る前に、本日の会議録署名人を指名いたします。会議録署名人は、廣田委員を指名いたします。</p> <p><（２）地域型保育事業の設備及び運営に関する基準案について></p>
渡辺会長	<p>議題（２）地域型保育事業の設備及び運営に関する基準案についてを議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局・渡邊	<p>資料１・２について説明</p>
相澤委員	<p>○質疑・意見</p> <p>富津市らしさを出す条例の見直しとかを考えた経緯はあるのでしょうか。例えば、設備のところで遊び場には芝生を植えるとか、自然豊かにするだとか、そういうところは、市の裁量に任せられるところではないでしょうか。</p> <p>また、富津市らしさの面で夜間保育については、考えているのでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>富津市らしさですが、基準は保育所・幼稚園等については、県が認可したものを市が需要を見込んで定員等を設定するものです。また、地域型保育については、市が認可になりますが、今現実問題で市内にはありま</p>

相澤委員	<p>せん。これからどうなるかわかりませんが、今回は認可と確認の最低基準を定めるという趣旨で特に独自のものは盛り込んでおりません。</p> <p>夜間保育については、今そういう対応はしておりません。ニーズ調査にも夜間保育の項目は、ありませんので、ニーズを把握できていない状況ですので、今のところは考えておりません。</p> <p>今後実施していくうえで、またその都度見直しをかけるという幅があるという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>計画は作ったら終わりということはありません。この会議でも毎年、これから計画策定した後は、年度が終わったらそれを検証していきます。途中で計画変更もありえますので、ニーズや実際の状況などを把握して、会議に審議をお願いして、検討していきたいと考えております。</p>
鈴木副会長	<p>資料1の認可基準について、県に認可権限があるけど、市が認可基準を条例で定めるということでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>ここでの市の認可の基準というのは、地域型保育事業のことを言っております。認定こども園、幼稚園、保育所についての認可基準はあくまで千葉県の条例で設定することになります。市の認可の基準というのはあくまで地域型保育事業に限ったことになります。</p>
鈴木副会長	<p>小規模型の保育園定員の設定は、0・1・2歳が中心とのことですが、3歳以上も保育ができるということでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>基本的には3歳未満ですが、状況によっては3歳以上も可能となります。</p>
鈴木副会長	<p>既存の認可保育所が20人を切った場合はどうなる</p>

事務局・白石	<p>のでしょうか。0・1・2歳しかできないとなると3歳以上をどこかに移さなくてはいけないのか考えなくてはいけないと思うのですが。</p> <p>20人というのは、認可はあくまで定員でみておりますので、認可保育所の利用者が20人きったところですぐに小規模保育になるということではありません。</p>
渡辺会長	<p>他にご意見等がなければ、議題（2）地域型保育事業の設備及び運営に関する基準案については、承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
渡辺会長	<p>それでは、地域型保育事業の設備及び運営に関する基準案については、承認することとして決定いたしました。</p>
	<p><（3）特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準案について></p>
渡辺会長	<p>議題（3）特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準案についてを議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局・渡邊	<p>資料3について説明</p>
鈴木副会長	<p>○質疑・意見</p> <p>特定教育・保育施設について説明をお願いします。</p>
事務局・白石	<p>特定教育・保育施設は、幼稚園・保育園・認定こども園で確認を受けた施設です。ここでの特定教育・保</p>

鈴木副会長	<p>育施設は、確認を受けた施設を表しています。</p> <p>既存の保育所（園）・幼稚園は施設型給付を選んだ施設、認定こども園が基準に見合ったことが確認された施設が特定教育・保育施設に該当するということによってよろしいでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>その通りです。</p>
渡辺会長	<p>他にご意見等がなければ、議題（３）特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準案については、承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
渡辺会長	<p>それでは、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準案については、承認することとして決定いたしました。</p>
渡辺会長	<p><（４）放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案について></p> <p>議題（４）放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案についてを議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局・渡邊	<p>資料４について説明</p>
井上委員	<p>○質疑・意見</p> <p>第１０条の３の職員の研修というのは、これから研修が開始されるということでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>これから新制度が始まったら開始される予定です。</p>
井上委員	<p>２０人未満の放課後児童クラブは併設された場所であれば指導員が１人でも良いとありますが、併設とい</p>

事務局・白石	うのは、例えば保育所の中にあるとかそういうことですか。
事務局・白石	同一敷地内の施設や事業の職員が兼ねられれば可能であるという規定です。
井上委員	学校の中で単独でやっている学童は、学校の中でやっているということだから併設された施設はないということでしょうか。
事務局・白石	その通りです。
渡辺会長	現在の市内の学童クラブの状況を教えてください。
事務局・白石	市内の学童クラブですが、補助を出している、出していないを含めて7か所あります。定員は全体で190人です。
渡辺会長	現状の人数を教えてください。
事務局・白石	平成26年4月1日時点で7か所161人となっています。
渡辺会長	学校区ごとはわかりますか。
事務局・白石	富津小学校区は28人、青堀小学校区は3か所ありまして71人、飯野小学校区は21人、大貫小学校区は34人、佐貫小学校区は7人です。
相澤委員	第10条の職員ですが、市独自でこの基準に該当しない、例えば子育ての経験豊かな人を市が認定して、職員の中の一人として採用するというようなことは考えられないのでしょうか。資格が無くても子育ての経験豊かな人はいらっしゃると思うのですか。
事務局・白石	第10条については、資料にもありますが従うべき基準ということで、国の基準に従うことになっております。ここの部分については、国の基準に従うことになります。
相澤委員	わかりました。では、この基準を守らなかった、守れなかった場合は、何か運用案のようなものはあるの

事務局・白石	<p>でしょうか。</p> <p>学童保育クラブについては、認可ではなく届出となります。届け出ていただき、事業をやっていただき、この基準を守れなかったときは、守っていただくよう指導することになります。</p>
相澤委員	<p>守れなかったら、指導で終わるのか、認可取り消しということもあるのでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>認可ではなく届出となりますので、届出して基準を守っていただくことが基本となります。市としても費用の給付を行います。基準を守っていただかなければ市として給付ができないこととなりますので、市としては守っていただくよう指導していくことになると思います。</p>
渡辺会長	<p>他にご意見等がなければ、議題（４）放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案については、承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
渡辺会長	<p>それでは、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案については、承認することとして決定いたしました。</p>
	<p>4 報告</p> <p><（１）子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書について></p>
渡辺会長	<p>次第４報告（１）子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局・白石	<p>富津市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査</p>

	<p>報告書について説明</p>
鈴木副会長	<p>○質疑・意見</p> <p>データをまとめて整理していただいておりますが、これに対してどのような評価をしたのか教えてください。</p>
事務局・白石	<p>分析については、これからやっていくのですが、率直に近隣市とも比較されている部分もありますが、厳しい意見をいただいております。富津市は、待機児童はいませんが、他の支援センターなど支援の面で遅れている部分もありますので、計画を策定するうえで取り組んでいかななくてはならないと実感したところです。</p>
鈴木副会長	<p>その実感は強い意志として受け取ってよろしいでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>結果が出せるよう取り組んでいきたいと考えております。</p>
君塚委員	<p>病児・病後児保育の項目がありますが、幼稚園の立場からすると病気の時も少し熱があっても大きな病気の前兆ではないかと心配して預かっています。ニーズ調査で病児・病後児保育の項目が載ってしまうと病気の時の保育が公になってしまうと思います。</p> <p>子どもが病気の時は、事業者側に施設の方から連絡を取って、親御さんを早く帰していただくような努力が病気の場合は、必要なのではないのでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>このニーズ調査については、事業計画を作るために調査を行ったものです。病児・病後児については、この保育に対するニーズがどれだけあるかということ进行调查しています。おっしゃる通り、親が病気の子どもをみられる社会環境をつくるのが前提であり、大事だ</p>

<p>君塚委員</p> <p>事務局・白石</p>	<p>と思います。ただ、現実的には、そのような状況になっていないのは事実ですので、この調査については、ニーズがどれだけあるかを調査しています。</p> <p>この調査項目をみると利用者側は、このようなこともしてくれるのだと思ってしまいます。</p> <p>病児に限らず、休日、夜間、延長保育にしてもどれだけやれば良いのかということになるとと思います。保育環境を良くすれば親はそれだけ仕事をしていけば良いのかということになってしまいます。この調査は、行政として支援するためにはどのようなニーズがあるかを調査するものです。</p> <p>社会環境の問題については、次世代育成支援行動計画の中で取り組んでいくものになります。これは子育てしやすい環境を目指そうと取り組んでいるものです。今年度でこの計画の根拠となる法律が終わりますが、10年間延長され、引き続きワークライフバランスを企業が取り組んでいくことになります。</p>
<p>君塚委員</p> <p>事務局・白石</p> <p>鈴木副会長</p>	<p>別々にやっていて、それが平行線をたどっていて、より良い社会をつくる、子どもが育ちやすい環境をつくるのが、別々の路線でやっていて良いものが作れるのか疑問に思います。双方が歩み寄ってより良い社会をつくる立場に立って、進めていけば良いと思います。</p> <p>わかりました。</p> <p>保育園の立場からですが、働き方を考えていかななくてはいけないとは思いますが、今の国の流れを見るとその方向には向いていないように思えます。短時間労働を実現して行こうと案はあるけど、実現はしていない状況です。それぞれの働き方を否定してしまうと生活は成り立たなくなってしまうと思います。そういっ</p>

<p>小柴委員</p>	<p>た点では、どこかで支えていかなくてはいけないかなと思います。なので、保育園も引き受けないといけない現実があるから行っているということをご理解いただければと思います。</p> <p>ニーズ調査の結果については、調査回答していただいた方に対し、フィードバックとかホームページに公開などは考えているのでしょうか。</p>
<p>事務局・白石</p>	<p>就学前、小学生両方の報告書について、ホームページに掲載いたします。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>こういったアンケートは、こうあったら良いというものを並べるリストに偏りがちになる傾向にあると思います。この会議や行政の担当者でこういったものを基にどのような政策が打てるか議論すべきだと思います。皆さんから色々なご意見をいただいたので、担当課の方で参考にしながら、具体的な施策として、現状に合った、富津市ならではのものを出示いただければと思います。</p>
<p>鈴木副会長</p>	<p>私達も具体的な提案を出していかないといけないかなと思います。予算がある中でやりたくてもできないこともあると思います。会議の中で意見を出して、行政に持ち帰ってもらわないといけないと思います。説明ばかりの会議だと難しいですが、今後は意見が出せる時間を作りだしていただければと思います。</p>
<p>前沢健康福祉部長</p>	<p>ニーズ調査等をもとに皆さんの意見を聞きながら、子育て支援についてどのような施策が打っていけるか考えながら進めていきたいと考えております。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>< (2) 量の見込みについて ></p> <p>報告 (2) 量の見込みについて、事務局の説明を求</p>

事務局・白石	めます。
相澤委員	資料5について説明
事務局・白石	<p>○質疑・意見</p> <p>回答者のパターンの中でタイプEの「パートタイム×パートタイム（双方就労時間が長い）」ですが、全て人数が0人ですが何か理由あるのでしょうか。こういう方たちはいらっしゃらなかったのでしょうか。</p> <p>算出は、まずニーズ調査の回答者をタイプごとに振り分けます。分けた後にどの選択肢を選んだかになりますので、0人であれば該当者がいなかったか、選択した人がいなかったかどちらかとなります。ただ、タイプEについては、元々対象者は少ないタイプになると思われれます。</p>
相澤委員	そうすると設定に無理があったのかもしれませんがね。
事務局・白石	この設定は、国から指示された設定通りとしております。
鈴木副会長	3ページの②-1の3～5歳で幼稚園というのは、幼稚園を利用している人だけど、預かり保育を利用している人達ということでしょうか。
事務局・白石	これは、あくまでアンケートですので、まず保護者の就労状況の回答があります。A B C Eに回答があった方が幼稚園を希望している人を集計しています。あくまでニーズですので、「フルタイム×フルタイム」の人が誰か家で見てくれる人がいれば、ニーズ調査上は、2号認定で保育所利用になるべき人ですが、本人は幼稚園を希望しているという回答になっています。
鈴木副会長	見込みをどのように見込むかについて、5年という

前沢健康福祉部長	<p>年数をどう考えるかですが、今回この会議は5年を見通すという終着点がありますが、富津市は消滅しそうな自治体の一つになっている中で、どう審議していくのでしょうか。説明を聞く限り状況を静観しているように見えるのですが。市としてはどう考えているのでしょうか。</p>
鈴木副会長	<p>現在市では、5か年計画として取り組み3か年ごとの実施計画を組んでいます。5か年計画の中で安心して子育てできるまちづくりとして、子ども医療費を中学3年生まで拡大することや病後児保育など、子どもを育てる環境を良くしていこうとソフト事業について予算の配分を多くしている状況です。今後もこれらを踏まえた中で行政を進めていきたいと考えております。</p>
渡辺会長	<p>どういう街にしていくのかは市民レベルで議論していかなければならないことで、田舎の良いところはいっぱいあると思うので、都会の人を呼び込むような施策、子ども子育てに関するものでやれないかなと思います。会議でこれだけの人が集まっているので、みんなで考えられないかなとも思っています。</p> <p>< (3) 平成26年度のスケジュールについて ></p>
事務局・白石	<p>報告(3)平成26年度のスケジュールについて、事務局の説明を求めます。</p> <p>資料6について説明</p>
松倉委員	<p>○質疑・意見</p> <p>国から作業の内容等は指示されていると思います</p>

事務局・白石	<p>が、第2回の内容をみると就学前の教育・保育の確保とありますが、これは待機児童がいる地域でどうすべきかということだと思います。待機児童がないのにこれを議論してもどうなのかと思います。例えば、議題の内容を国から示された内容にすべて乗っかるのではなく、富津ではどうなのかということ盛り込んだ議題が出てくると良いのかなと思いました。</p> <p>待機児童はいませんので、保育と教育についてはどれだけ必要かを決めれば良いということになります。それ以外で、例えば学童保育は未整備なところもあり待機児童はいますし、子育て支援センターなどのソフト面について、皆さんの意見を伺って、どのように進めていくか検討していかなければいけないと思います。</p>
井上委員	<p>学童保育というのは地域子育て支援事業に含まれるのでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>その通りです。</p>
井上委員	<p>会議では、いつもこういう案がありますよって作ってもらって、私たちが意見を出して審議するということだと思うのですが、その前に意見を交換する場があれば、一回だと理解する前に終わってしまうと思うし、会議の前に説明していただく場があれば、会議の場でもうちょっと意見が出てくると思うのですが。</p>
事務局・白石	<p>資料は、事前に送付させていただいておりますが、会議の場では一方的に説明する形になってしまいます。国から資料が提示され、順次それに従い動いていますので厳しい面はありますが、意見交換の場が取れるよう努力させていただきたいと思います。</p>
鈴木副会長	<p>昨年度の会議のときに勉強会の開催をやっていただいたのですが、参加者が少なかったのが残念でした。</p>

<p>事務局・白石 井上委員</p>	<p>ただ、みんなが何でもこういうことが提案されて、また、 どういうことを詰めていかないといけないのかという ことを知っていないと会議になっていかないかなと思 っています。</p> <p>できる限りやっていきたいと考えております。</p> <p>ニーズ調査の自由記載の中からどういったものが本 当に必要なのか検討するようなこともできたらと思 います。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>課題を絞り込むという作業も必要だと思 います。この場で資料を見せられてもわからないことは多いと思 います。この会議でやるべきことというのは生の声、 現場の声だと思 います。それを上手く引き出すため には、問題の絞り込み、事前に絞り込んだものを皆 さんに提示して、こういうことを話しますよという ように準備会や意見のある人が集まって事前の検 討会を開くとか、そういったこともできると思 います。せっかく皆さん集まっていた いただいているので、そういった仕 組みを検討して、次の会議の前に 提示していただければと思 います。</p>
<p>事務局・白石 富井委員</p>	<p>わかりました。</p> <p>8月の会議の中の議題の保育短時間における 下限設定はどのようなこと でしょうか。</p>
<p>事務局・白石</p>	<p>現在の保育は標準が11時間 です。新制度では標準が11 時間で短時間保育は8時間 となります。その8時間の保 育を認めるのに月何時間働 いていれば良いか市が定め ることとなります。その設 定を決めること となります。</p>
<p>富井委員 事務局・白石</p>	<p>自由記載について、話し合 う場はあるのでしょうか。</p> <p>この自由記載については、 あくまで事業計画を策定 するため、先ほど説明しま した量の見込みの数値をだ</p>

鈴木副会長	<p>すために行った調査です。自由記載については、任意となり、皆さんの意見を聞くために実施しました。これについては、庁内の会議でも話し、検討をお願いいたしました。</p> <p>庁内というより、みんなで検討しあう場を作った方が良いのではないのでしょうか。</p>
白井委員	<p>この会議は、事業計画についてのみなののでしょうか。病児保育や自由記載の図書館などのことはアンケートのついてきた結果であって、いまここで検討するものではないとの回答なのですが、この会議は事業計画のみのことを取り扱うということでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>会議の目的は、事業計画を作ることであり最優先で進めていますが、これに限るということではありません。</p>
白井委員	<p>スケジュールにはそういったことは載っていませんが、これから載っていくもののでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>スケジュールについては、必ずやらなくてはならないことを載せています。そのあとに皆さんの意見を聞くことについて制限はありません。</p>
菊地委員	<p>富津市独自のことですが、何もやっていないわけではありません。「ライフサポートファイル」をご存じでしょうか。子どもに関する情報、自分の子どもがどのように成長してきたかを記録する「ライフサポートファイル」に、保護者が子どもの成長を記録して行って、必要なときに相談したい相手に情報を提供するものです。</p> <p>全ての子どもを対象に作ったのは県内で初めてで、富津市から他市へ広まっている状況です。富津市でやっているもので子育てに生かせるものもあると思いますので、こういったことと保育事業等と上手く結びつけて、お子さんの情報を保育の中に生かしていけたら</p>

鈴木副会長	<p>良いかなと思います。国の事業はやらなくてはいけないのですが、富津市の中の富津市らしい特色を活かした事業も検討していかなくてはいけないかなと思います。</p> <p>来年度以降のこの会議は、どういったことをやっていくのでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>計画策定してから、来年度以降は事業の検証作業を皆さんにやっていただくことになります。</p>
鈴木副会長	<p>今後はテーマを絞り込んでやれる時間を作っていけたら良いかなと思います。</p>
事務局・白石	<p>今年度は計画策定になりますが、来年度以降については検討していきたいと思います。</p>
井上委員 事務局・白石	<p>パブリックコメントは、どういったことでしょうか。</p> <p>パブリックコメントは市民参加の一つ手法で、市民の皆さんの意見を聞くものです。この会議でも保護者代表の方に出席いただいて意見を出していただいております、これも市民参加の一つですが、パブリックコメントは色々な計画等を作るときに計画案を示して皆さんの意見を募集するものです。その意見の内容について市が検討して、計画に取り入れるかどうか判断するものです。</p>
井上委員	<p>基準案だけじゃなくて、具体的な学童等の事業も会議で決まったごとにこの手続にかけるのでしょうか。</p>
事務局・白石	<p>パブリックコメントは、計画がある程度出来上がった状態でかけるものであって、その都度かけるものではありません。</p>
富井委員 事務局・白石	<p>次の会議は8月のいつごろでしょうか</p> <p>8月上旬を考えております。</p>
渡辺会長	<p>他にご意見等がなければ、本日の議題は全て終了い</p>

たしました。皆さん大変活発な意見をありがとうございました。
いました。

以上をもちまして、平成26年度第1回富津市子ども・子育て会議を終了いたします。皆様ありがとうございました。

閉会